

2004年1月1日～2022年9月11日の間に
川崎医科大学総合医療センター及び川崎医科大学附属
病院において上部消化管内視鏡検査を受けられた方へ

「バレット上皮の発生とその進展に関する研究」

へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者

川崎医科大学総合医療センター総合内科 医師 石井克憲

共同研究者

川崎医科大学総合医療センター総合内科学2	教授 河本博文
同	特任教授 春間 賢
同	准教授 川中美和
同	講師 末廣満彦
同	講師 浦田矩代
同	講師 谷川朋弘
川崎医科大学検査診断学（内視鏡・超音波）	教授 眞部紀明
同	准教授 藤田 穰
同	講師 綾木麻紀
川崎医科大学健康管理学	教授 鎌田智有
同	講師 村尾高久
同	講師 勝又 諒
同	大学院生 砂金 彩
同	大学院生 角 直樹

1. 研究の概要

近年、逆流性食道炎の増加とともに、食道と胃の接合部に発生するバレット腺癌が増えております。バレット腺癌の発生には逆流性食道炎による食道粘膜の傷害によりバレット上皮が発生し、この上皮が進展しバレット食道となり、そのバレット食道から腺癌が発生するのではないかと考えられていますが、実際にバレット上皮の発生と進展について検討した報告は少ないのが現状です。そこで、本研究は、川崎医科大学総合医療センターと川崎医科大学付属病院で上部消化管内視鏡検査を受け、1年以上の間隔で再検査が行われた患者さんを対象として、バレット上皮やバレット食道が存在する症例を抽出し、その進展と、進展した症例については進展に関与した因子につ

いて検討することを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2004年1月1日から2022年9月11日の期間に川崎医科大学総合医療センターと川崎医科大学附属病院において上部消化管内視鏡検査を受けて、食道胃接合部が十分に開され、1年以上の間隔で再検査が行われていた18歳以上90歳以下の方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年12月31日

3) 研究方法

2004年1月1日～2022年9月11日の間に川崎医科大学総合医療センターと川崎医科大学附属病院において上部消化管内視鏡検査を受け、食道胃接合部が十分観察され、1年以上の間隔で再検査が行われた18歳以上90歳以下の方について、研究者が診療情報をもとに年齢、性別、身長・体重、BMI (Body Mass Index)、病歴と基礎疾患、内服薬の有無と内容、さらに食道胃接合部の変化について検討します。

4) 使用する情報の種類

情報：内視鏡検査所見、年齢、性別、身長・体重、BMI (Body Mass Index)、病歴と基礎疾患、内服薬の有無と内容

5) 外部への情報の提供

ありません。

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合内科2教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出くだ

さい。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学総合内科総合医療センター内科 医師 石井克憲

〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下 2-6-1

電話：086-225-2111 内線 48127（平日：9時00分～12時30分）

FAX：086-232-8343

E-mail：katunori.ishii@gmail.com

3. 資金と利益相反

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。